

高齢者の  
のはなし

# 高齢者の見守り支援事業について

(ご相談はP3の東部又は西部いきいき支援センターまで)

最近では週刊誌やテレビ番組でも、いわゆる『ごみ屋敷』『孤独死』という話題をよく目にするようになってきました。少子高齢化社会の中で、一人暮らしの高齢者が増えることは避けられません。今後の対策の一つとして、名古屋市では、『高齢者の見守り支援事業』を実施し、電話や訪問による安否確認や地域における見守り体制づくりを行っています。「あの人が最近連絡ないけどどうしたのかな？」離れて暮らす親戚や友人、近隣の知り合い、よく行く喫茶店など、周囲の人が少し気にかけていただくことで、困っている人が深刻な状態になる前に必要な支援を受けることができます。

高齢者が安心して暮らせる環境は、誰もが困った時に誰かに助けてもらえる社会に繋がります。人に迷惑をかけないように…とと思ってしまいがちですが、元気なうちから、自分が周囲の人に相談できるようになることも大切です。



## 知っていますか？ コーナーの解説

愛知 洸 (あいちひろし)

この「我慢」ということばは本来仏教語です。

「我慢」の「我」は自我の我。「慢」は慢心の慢です。要するに「我慢」とは「自我に基づく慢心」という意味です。

自我とは、自身の奥底にある自分の都合を作り出している根っこのことで、私たちは自分自身が身勝手であることが気づけない存在であることを仏さまは呼びかけてくれています。

慢心とは、他と比較する心で、優劣は自分の尺度や思い込み、要するに自我で判断しているのです。

「我慢」とは、自我に基づく慢心に気づき、比較する必要のない大切ないのちを生きてほしいという仏さまからのメッセージのことなのです。



### ●ご挨拶

このたび、こころんねっとで執筆させていただくことになりました昭和区円上町にあります西福寺の愛知洸(あいちひろし)と申します。

この記事では、読者の皆様が仏教を身近に感じていただきたく、日常的に使っていることばの中で、実は本来仏教語であるものをいくつか紹介をさせていただきます。

私たちお寺としても、より皆さまの生活と心が豊かになれるよう活動していきたいと思っており、このように少しでも皆様と接点ができご縁をいただき大変ありがたいと感じております。

しばらくご一緒させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## こころんクイズ



Q. 昭和区内で集められた赤い羽根共同募金のうち、使い道がちがうものはどれでしょう？

- ①障がい者団体 ②子育て支援事業  
③環境団体

正解の方の中から抽選で3名の方に図書券を差し上げます。ハガキかFAXでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、今月号のために書いた記事をご記入の上、昭和区社会福祉協議会までお送りください。締め切りは平成29年12月28日必着。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

## 寄付のお礼

次の方々から本会へご寄付いただきました。寄付金は昭和区の地域福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- 名古屋ヤクルト販売(株)
- はつらつクラブ(はつらつデー売上)  
半分は熊本・秋田災害義援金へ(敬称略)